

# なかま

プリンストン日本語学校(補習校部)

平成23年度 No. 33号

平成24年1月29日

文責 安部 小彌太



## 会話の内容

対話が成り立つためには、話し手と聞き手の関係が大切です。言語が発達していないと当然の如く、対話が成り立ちません。親子の間では以心伝心、何となく通じることもあります。社会生活では大変難しくなるものです。特に、小学3年生ぐらいからは、社会科や理科も学ぶようになり、語彙数が数段と多くなります。補習校で国語を学んでいるだけでは、日本語としての力が不足してきます。このことは、英語で学習している現地校でも言えることです。わが子の国語力(日本語)、英語力を客観的に評価する必要があります。感覚的な会話を中心の低学年の時代はさほど問題はありませんが、高学年になると会話の内容も知的な内容に変わってきます。知的な内容で話し合いに参加できるか否かは、大きな問題です。日本語環境が不足している海外生活です。親子の会話にも、十分な配慮が必要です。\*\*\*\*\*

日本語検定(4級 中学生~高校生程度)

1は{ }の中の言葉と似た意味を表す言葉を、  
2は{ }の中の言葉とは反対の意味を表す言葉を□の中から一つ選んでください。

1、{ 概要 }

外観、概略、概念

2、{ 直筆 }

悪筆、絶筆、代筆

## 日本を知る(川)

世界で一番長い川は、アフリカのナイル川(6,650km)。日本で一番長い川は信濃川(しなのがわ)で、新潟県および長野県を流れています。信濃川と呼ばれているのは新潟県のみで、長野県にさかのぼると千曲川(ちくまがわ)と呼称が変わります。小学校学習指導要領では、五年までに国土の主な山脈や平野、川の地形や地域を学び、気候との関連も調べることになっています。中学生になると、さらに詳しく地理を学習しますが、日本で一番長い川や高い山の名称などは記憶してもらいたと思います。

千曲川の上田市付近には北国街道の名残もあり、風情や歴史観を味わうことができます。また、千曲川は古くは万葉の頃から多くの詩歌に歌われ、近代になっても、詩人・作家である島崎藤村の「千曲川旅情の歌」でも知られています。狭い日本ですが、日本各地にさまざまな名所旧跡があります。保護者が生まれ育った地域の事についてわが子に伝えているのでしょうか。

## 行事予定

2月 5日 児童生徒向け講演会  
(小学高学年以上)  
2月12日 古本市  
2月19日 小学1年入学説明会  
3月18日 卒業式  
<<平成24年度行事予定>>  
4月 8日 入学式(会場、Cavalla Hall)



## 書き初め展示

中高生の芸術的な作品には驚きましたが、小学部の硬筆展でも、丁寧に書かれている字がたくさんありました。低学年には、数多くの金賞、銀賞、銅賞を、高学年の5、6年生には厳選して、金賞と銀賞を出しました。賞を与える事が出来なかった児童生徒が沢山いました。努力の様子や緊張しながら書いている様子が手に取るように分かりましたが、心を鬼にして決めました。来年度も実施の予定です。美しく丁寧な字で挑戦してください。



## 古本市

2月12日、古本市があります。児童生徒にも購入時間が決められています。どんな本が欲しいのか、ご家庭で話っておきましょう!!

## 児童生徒向け講演会

2月5日、児童生徒向け講演会を行います。講師の先生は、本校理事の山田雅章氏です。保護者の参観は教室に空きがあれば可能ですが、頻繁な出入りはご遠慮下さい。

・13時45分から14時25分迄(約54名)

対象 小学5、6年、中1、プリ中、プリ小高学年

・14時50分から16時15分迄(約41名)

対象 中学2、3年、プリ高、高等部